

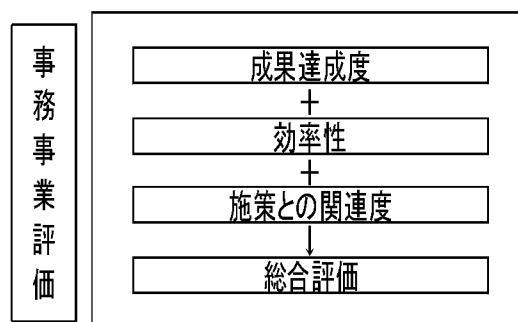
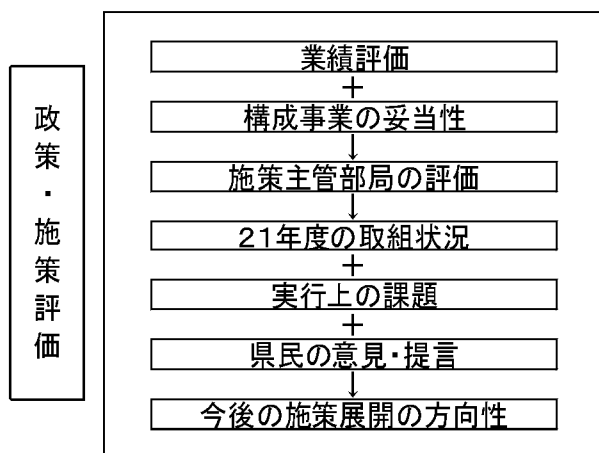
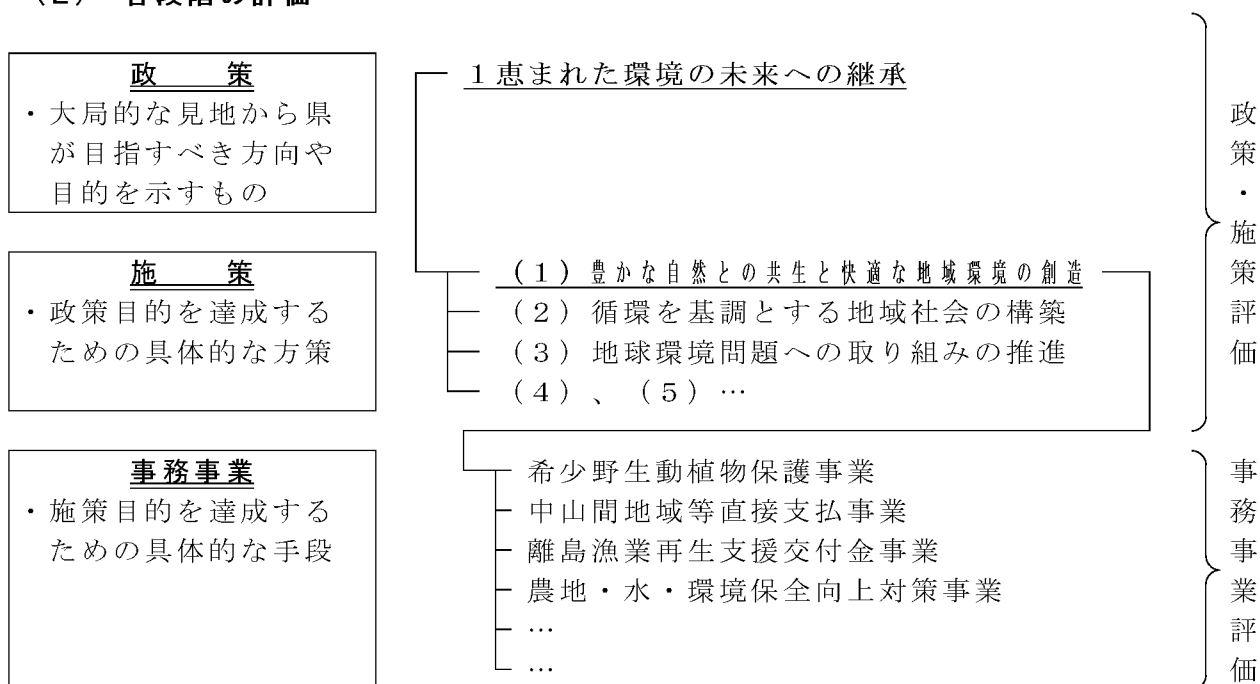
# 平成22年度行政評価の概要について

## 1 行政評価の全体像

### (1) 目的

- ① 職員の意識改革（成果重視）を進めるとともに、新たな展開を考える基礎とすることにより政策形成能力の向上を図る。
- ② 県民に対し施策や事業についての説明責任（成果が上がっているか、効果的に実施されているか等）を果たす。
- ③ 限られた行政資源を最大限に活用し、事務事業の効率化、適正化を図るとともに、行政サービスの質の向上を目指す。

### (2) 各段階の評価



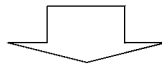
## 2 政策・施策評価

### (1) 評価の対象

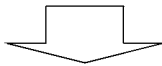
「安心・活力・発展プラン2005」における、16政策、46施策について評価を実施

### (2) 評価方法

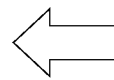
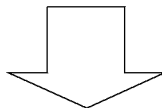
成 果 : 施策毎に設定した成果の数値目標をどれだけ達成したかを示す  
指標  
構成事業の妥当性の検討



施策主管部局評価（今後の方向性）～各部局による評価  
「拡充」「現状維持」「見直し」



今年度の取組状況及び実行上の課題の把握



「安心・活力・発展プラン2005」  
推進委員会等の意見

今後の施策展開の方向性

### 3 事務事業評価

#### (1) 評価の対象

平成21年度に県が実施した事業のうち、主要な460事業について評価を実施

#### (2) 評価方法

##### ① 事務事業評価の視点と内容

- |     |                           |               |
|-----|---------------------------|---------------|
| i   | 「事業の目的」 = 事業目的は妥当か        | → 事業目的の明確化    |
| ii  | 「成果指標・実績」 = 事業目的は達成されているか | → 指標による成果の把握  |
| iii | 「効率性」 = 事業は効率的に行われているか    | → 指標による効率性の把握 |
| iv  | 「必要性」 = 県による実施の必要性はあるか    | → 必要性の検証      |

##### ② 総合評価への反映

22年度以降の事業の方向性、見直しを行う場合の時期、内容等について総合評価を実施し、今後の事業展開に活かしている。

### 4 公表

- ・ 情報センター、地区情報コーナー、ホームページにより公表